

しまねの土地改良だより

平成25年2月1日発行

 水土里ネット島根

■ 農業農村整備予算説明会開催

1月29日、本会大会議室において、農林水産省農村振興局整備部から鈴木浩之海岸・防災事業調整官、山根伸司農村整備官補佐、中国四国農政局整備部から安部伸治設計課長、張谷俊二経営体育成基盤整備係長が来県され、平成24年度農業農村整備事業補正予算及び平成25年度農業農村整備予算に関する説明会・意見交換会が開催され、市町村長6名、市町村・土地改良区の役職員、農業土木技術研究会員、島根県農林水産部長崎参事外幹部職員、及び県土連職員など総勢138名が出席しました。



第1部では予算説明会が行われ、「昨年12月の衆議院議員総選挙後新たに発足した自公政権下での農業農村整備事業関係の平成24年度補正予算と平成25年度当初予算要求の合計額6,354億円は、民主党政権発足前の平成21年度予算5,820億円を上回る規模になっている」と説明がありました。

また、経済対策で追加される公共投資の地方負担が大規模であり、地方の資金調達に配慮し経済対策の迅速かつ円滑な実施を図るため、今回限りの特別の措置として、平成24年度補正予算において「地域の元気臨時交付金（地域経済活性化・雇用創出臨時交付金）」が創設されることについて説明がありました。

第2部では本省、農政局の方々とは県内市町村長、土地改良区理事長らとの意見交換会が行われました。双方とも直接情報交換、意見交換する機会が得られ、貴重で有意義な会議となりました。

第3部は本省、農政局の方々を交え、出席者全員で懇談会が行われ、更に活発な意見交換が行われました。

・ 農業農村整備予算説明会開催	1
・ 平成24年度第4回役員会の開催	2
・ 農業農村整備の集い	2
・ 農業農村整備関係予算確保を国へ要望	3
・ 土地改良会館消防訓練実施	3
・ 土地改良法に基づく農林水産省の本会検査	4
・ 「持続可能な水・土・里」シンポジウム	4
・ 今後の主な予定	4

■ 平成24年度第4回役員会の開催

平成24年度第4回県土連役員会が1月29日本会役員室において開催されました。宇津会長・長岡副会長とともに急遽欠席となったため、山碕理事が議長となり、議事を進行されました。

はじめに議事録署名人として、中谷理事（吉賀町長）と田中専務理事が選出され、第1号議案から第6号議案まで審議され、いずれも原案どおり承認可決されました。

【議案】

第1号議案 会務報告

第2号議案 島根県土地改良事業団体連合会定款・規約の一部改定について

第3号議案 平成24年度会計収入支出補正予算について

第4号議案 第55回通常総会提出議案について

第5号議案 第54回(平成24年度)全国土地改良功労者表彰候補者の推薦について

団体表彰 金章：大社町土地改良区 銀章：鹿足郡吉賀町土地改良区

個人表彰 役員：田中康義氏（出雲市布崎土地改良区理事長）

職員：藤原政明氏（前奥出雲町土地改良区）

第6号議案 平成24年度島根県土地改良事業団体連合会土地改良功労者表彰について
22名（役員17名、職員3名、本会職員2名）



■ 農業農村整備の集い

全国土地改良事業団体連合会と都道府県土地改良事業団体連合会が主催する「農業農村整備の集い」が、1月17日、東京の砂防会館別館で開催されました。

全国の土地改良関係者が多数集まる中、本県からは12名が参加しましたが、3年振りに農林水産大臣や衆・参国會議員百数十名が来賓として出席され、盛大な集いとなりました。

開会挨拶では、野中広務全土連会長から「土地改良予算の復活に大いに期待している。水土里ネット関係者も新政権に期待するだけでなく、我々の役割や農業・農村を守り、発展させていくことの重要性・必要性について広く国民にアピールする努力が必要だ。」と述べられました。また、来賓を代表し、林芳正農林水産大臣が「大幅削減された農業農村整備事業費を復活し、国土強靱化や競争力強化のため

の農業水利施設の長寿命化・耐震化対策、農地集積の加速化、水田の大区画化・汎用化等の基盤整備を推進していく。」と挨拶されました。

その後、林田直樹農林水産省農村振興局次長による「農業農村整備事業の『情勢報告』」、3団体からの土地改良事業への取り組み事例の発表が行われ、最後に全土連及び各県土連連名の関係機関に対する要請書の採択が行われ閉会しました。



■ 農業農村整備関係予算確保を国へ要望

1月18日、島根県農業農村整備推進協議会（会長 宇津徹男 浜田市長）と島根県土地改良事業団体連合会（同）は連名で、「農業農村整備関係予算の長期にわたる所要額の確保」など6項目について、関係機関に対して要望・提案活動を実施しました。

当日は、同協議会副会長の松田和久隠岐の島町長（県土連理事）を始め地元関係者らが、長島忠美農林水産大臣政務官、小里康弘自由民主党政務調査会農林水産部会長、県選出国會議員、實重重実農林水産省農村振興局長及び同局幹部職員を訪れ、「豊富な地域資源を活用した特色ある地域農業を構築することにより、島根の農業・農村の活性化が図られるよう、格別の配慮を賜るよう」強く要望しました。

この要望に対し、長島忠美農林水産大臣政務官は、「この3年間土地改良予算は大幅削減され、食料自給率の向上などに資する基盤整備は大きく後退した。今後は『国土強靱化・農業競争力強化』のための農業農村整備の推進をより一層進めていきたい。」と述べられました。

【要望・提案事項】

1. 農業農村整備関係予算の長期にわたる所要額確保
2. 農地・水保全管理支払交付金（共同活動及び向上活動）の所要額確保、及び交付金の事務手続きの一本化等制度の改善
3. ふるさと農道緊急整備事業の平成25年度以降の事業継続
4. 農業用水利施設を利用した小水力発電の予算枠の拡大と電気事業法の規制等の緩和
5. 老朽化したため池の整備を進める事業制度の要件緩和と国庫負担率の拡充
6. 中山間地域等の営農の実態に即したきめ細かな整備が可能な制度の確立

■ 土地改良会館消防訓練実施

12月27日、土地改良会館にて、消防計画に基づく消火、通報及び避難の訓練を、本会職員、しまね農業公社、島根県農業会議及び島根県林業公社職員全員参加により実施しました。

当日は、①火災発生（設備業者により火災報知機を作動） ②火災複合受信器で火災発生フロアを確認 ③火災発生現場へ急行し状況を確認し、初期消火実施（模擬） ④建物内の人に避難の通報、消防署へ119番通報 ⑤駐車場へ避難誘導 ⑥避難人員の確認など、通報訓練、避難訓練、消火訓練の全てを実施しました。

実際に火災発生から避難人員の最終確認までは6分33秒かかりました。その後、訓練用消火器での消火訓練を多くの方に体験していただきました。

今回の訓練は、3階入居団体も参加した初めての合同訓練でしたが、全職員には事前に通知していたためかほぼスムーズに行うことができましたが、いろいろな問題点も見えてきました。

火事や大災害はいつ発生するか分かりません。実際に直面した時、いかに冷静に判断できるか、日頃からの心構えやこういった訓練が大切です。今後も定期的に消防訓練を実施し、万一への備えを万全にしていこうと考えています。

■ 土地改良法に基づく農林水産省の本会検査

土地改良法第132条第2項の規定に基づく検査（現物検査）が、1月16日～17日の2日間に亘り実施されました。

当日は、中国四国農政局総務部検査課検査官3名が、公金保管状況の確認、平成23年度決算書類の確認を中心に実施されました。

土地改良区の検査と同様に、現物検査は事前の通告が無く実施されるものであり、本検査は、各種資料を提出後実施されます（本会の場合は、今月25日～3月1日までの5日間）。

■ 「持続可能な水・土・里」シンポジウム

2月12日午後1時から浜田市野原町「浜田市総合福祉センター」において、「持続可能な水・土・里」シンポジウム～水を育む里地・里山の健全な管理に向けて～を開催します。

農業生産に欠くことのできない農業用水が、近年の異常気象や山林の荒廃等により、安定的に確保することがだんだん困難になりつつあります。今こそ「里山・里地」を地域住民を始め一般県民も参画して「手入れ」を行い、次世代に継承することの重要性について理解を深め、その運動の気運を高めることを目的に、県内での実態調査を踏まえたシンポジウムを開催します。たくさんのご参加お待ちしております。

■ 今後の主な予定

- 2月 5日 島根県農地・水・環境保全協議会平成24年度第2回通常総会（本会）
第55回県土連通常総会及び平成24年度土地改良功労者表彰式（同）
島根県農業農村整備推進協議会総会（同）
- 7日 都道府県土連事務責任者会議（東京都）
- 8日 平成24年度島根県農業集落排水事業検討委員会作業部会（本会）
- 12日 平成24年度「持続可能な水・土・里」シンポジウム（浜田市）
- 13日 平成24年度「災害復旧技術向上のための講習」（本会）
- 14日 平成24年度農地・農業用施設災害復旧事業研修会（本会）
島根県農林年金対策会議及び構成団体会議（松江市）
- 18日 第16回しまねの農村景観フォトコンテスト審査会（本会）



みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水
「土」・・・土地や農地
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根 （島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町 432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp